



# 本気 元気 根気

「本気で勉強、ファイトで運動、やる気とねばりでとことんまで」

第4号

佐賀市立巨勢小学校 学校便り 令和4年5月30日

## 6年租税教室

毎年、6年生の社会科授業の中で、税金について、税務署が中心となり、租税教室を開催しています。今年は、佐賀県法人会がお話に来られました。最初は、国税局が作成したDVDを鑑賞しました。内容は、税金がなくなったらどうなるかを説明したものでした。たとえば、火事を消してもらったり、救急車を呼んだりしたら、料金を請求されるとか、ゴミ収集がなくなり町中がゴミだらけになるとか、みんなの憩いの場である公園がなくなるとか、学校がすべて有料となり家計が苦しくなるとかが紹介してありました。みんなの幸せのために税金が必要だということがわかったようです。後半は、もし、自分が佐賀県知事になったら、どの分野に税金を投入すべきかトップ3を決めようという学習をしました。子どもたちも知事になったつもりで、トップ3を決め、その理由を発表しました。



## ひがしみょう 6年東名遺跡出前講座

東名遺跡は佐賀市金立町に所在する縄文時代早期の遺跡で、平成5年以降、2度にわたる発掘調査が行われ、今から8,000年前の居住地・墓地・貝塚・貯蔵施設がセットで確認されました。当時の生活様式や文化を知る上で大変貴重な資料であると同時に、日本の縄文文化を研究する上で欠くことのできない遺跡です。特に、5mの粘土層でパックされた湿地性貝塚からは、700点以上の編みかごをはじめ、縄文人たちの知恵や技術力の高さがうかがえる国内最古級の資料が大量に発見されました。この貴重な身近な遺跡について、佐賀市役所の文化財課より出前授業という形でお話に来ていただきました。授業の中では、実際に発掘された「鹿の角」「イノシシの骨」「縄文土器」など貴重なものを実施に触らせてもらいました。お土産として、貝塚から発掘されたシジミやハイガイをいただきました。縄文時代について、教科書で学ぶより何倍も有意義な学習になりました。



## 春の遠足・1年生を迎える会の実施について

4月に計画していた、延期になっていた「春の遠足・1年生を迎える会」を6月1日（水）に実施します。感染状況も収まってきていますし、すべて外での活動なので、全校集まって、縦割りグループで活動しても問題はないと考えています。しかし、まだ、県内の感染者がゼロではないし、心配されている保護者の方もいらっしゃると思いますので、以下のような対策を行っていきます。よろしくお願いいたします。

### 【感染症対策として】

- ①1年生を迎える会、さわやかスタンプラリー中はマスクを着用する。
- ②並ぶ際は前後との間隔を1m以上開ける。
- ③巨勢公園への行きと帰りの道のりでもマスクは着用する。
- ④昼食を食べる時はできるだけ会話を控える。また、食べる時は隣の人との間隔をあけ、一列に並んで食べる。
- ⑤手をつないだり、体の接触をしたりしないようにする。
- ⑥物を使う活動の前後にはアルコールで消毒する。

## 遊具の正しい使い方について

最近、遊具で遊んでいて怪我をしてしまう子どもたちが増えています。よく話を聞いていると、正しい使い方をしていないようです。そこで、現場に職員が集まって、使用の仕方について確認をし、各学級で指導することにしました。低学年に人気の遊具ですが、並び方がうまくいってなかったり、他の子が遊んでいるときに横切ったりしていたので、遊具の場所に行ってしっかり指導することにしています。



## ふれあい道徳の実施について

今日、児童生徒の命に関わる事件が起こったり、社会性や規範意識の低下が指摘されたりするなど、心の教育の一層の充実が求められています。佐賀県では、佐賀県教育施策実施計画の中で、豊かな心を育む教育の取組をあげ、学習指導要領を踏まえた効果的かつ多様な指導方法の普及等による教員の指導力向上、家庭・地域との連携強化などの地域の特色を生かした取組を推進し、道徳教育の充実を図っています。そこで、各学校において、保護者や地域に対する道徳科の授業公開や道徳教育における情報発信を行ったり、道徳教育の校内体制の充実に係る取組を行ったりすることで、道徳教育を充実させるようにしています。ただ、昨年はコロナの影響で、授業参観が中止になり、十分公開できていません。今年も公開予定です。是非、ご覧ください。